

第96号【2016年度6月号】

発行元：昭和大学横浜市北部病院

- 巻頭言『ミャンマーの心臓病の子どもたち』
- 地域医療連携室
- TOPICS
- 医師の配属・異動・退職、診療統計
- 栄養科
- 患者さんからのご意見・ご要望
- 患者さんへのお知らせ



5月30日(月)

職員対象の消火訓練
を行いました。

巻頭言

『ミャンマーの心臓病の子どもたち』



循環器センター
富田 英

ミャンマーは「アジア最後のフロンティア」と呼ばれ、その経済発展が日本を含む世界各国から注目されています。一方、医療、とりわけ私が専門とする生まれつきの心臓病（先天性心疾患）に関する環境はまだ極めて厳しいものがあります。生まれつきの心臓病は、お子さんの生命に関わる病気ですが、その診断や治療には多大なコストがかかり、発展途上国における医療の中では、公的整備が後回しにされがちなのです。

国内外の心臓病の子どもを救う基金として産経新聞が設立した「明美ちゃん基金」による援助、および現地で医療活動を展開するジャパンハートと国立循環器病研究センターや東京女子医大を中心とする国内の医師団の協力による、ミャンマーにおける先天性心疾患の診断、カテーテルによる治療、外科手術の支援・教育活動に参加する機会を得ました。

活動の場は首都ヤンゴンにある国立ヤンキン子ども病院でした。この病院は6000万人近い人口を抱えるミャンマーの子ども病院でただ一つ、心臓病手術室や心臓カテーテル室を備える子どもの心臓病診療の中心的施設です。しかし、先天性心疾患の診療技術を持つ医師が極めて少ない、体重10kg以下のお子さんの心臓病手術は極めて厳しい、カテーテルを使った治療に用いる高額な医療機器を購入することができないなど、この病院での治療を待つお子さんは厳しい環境に置かれています。また、治療を待つ先天性心疾患のお子さんは現時点でも数千人に上り、日々増加を続けているとのことでした。

9月の活動では1週間の間に、私たち内科チームは約30人のお子さんにカテーテルによる治療や検査を実施し、外科チームは10人に外科手術を行いました。同院での治療を待つお子さんの数からするとまだまだ気が遠くなるような道のりではありますが、第一歩というところです。活動の最終日にも、集中治療室には重症の酸素不足で一日中起き上がることができないお子さん、心臓の働きが衰えたため肝臓、顔、手足が腫れ上がり、呼吸が苦しいために横にもなれないお子さんなど、日本では見ることが無いような重症のお子さんが集中治療室には溢れていました。このお子さんたちに治療の手が届くのは何時の事やらと後ろ髪を引かれる思いでヤンキン子ども病院を後にしました。

明美ちゃん基金では今後5年間、ミャンマーに対し、子どもの心臓病治療の技術向上を目的とした医療支援を行う予定であり、年に1,2回、日本からミャンマーへ医療団を派遣するほか、現地の医師らを日本に招いて研修を行うとのことでした。日本の優れた医学知識・医療技術を世界に発信する機会にもなります。

元気になった子どもたちが、いずれは日本とミャンマーの国際交流の場で活躍してくれることを願いながら、今後もこの活動に関わって行きたいと思っています。

地域医療連携室



新任教授のご紹介

副院長・呼吸器センター長・診療責任者

教授 門倉 光隆（呼吸器外科）

専門 呼吸器一般（外科）肺癌、縦隔腫瘍、自然気胸、胸腔鏡手術

昭和大学横浜市北部病院 外来予定表

平成28年5月1日現在												
○教授 ●客員教授 □准教授 △講師 ▲兼任講師 ☆助教 ★助教(員外)												
受付時間	診療科	区分	月		火		水		木		金	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
月～金 [8:00～11:30] 土 [8:00～11:00]	呼吸器センター	内科	初診	□鹿間 裕介		□笠原 慶太		医局員		△渡部 良雄/ ☆丹澤 盛		☆堀内 一哉/ ☆萩原 洋輔
				□笠原 慶太	□笠原 慶太	□鹿間 裕介	□笠原 慶太 (備品)	□鹿間 裕介	□鹿間 裕介	□鹿間 裕介	□鹿間 裕介	☆堀内 一哉
			再診	☆諸星 晴菜	□鹿間 裕介	☆黒田 佑介	△渡部 良雄	☆丹澤 盛	☆澁谷 泰弘		△渡部 良雄	☆萩原 洋輔
					☆堀内 一哉		☆酒井 翔吾					☆黒田 佑介
		外科	初診	☆鈴木 浩介		○門倉 光隆		医局員		☆植松 秀護		○北見 明彦
				○北見 明彦			○門倉 光隆	外科再診	○北見 明彦	☆鈴木 浩介	○神尾 義人	☆林 祥子
			再診								☆植松 秀護	○北見 明彦
										★佐野 文俊		☆大橋 慎一

資格 日本外科学会代議員・指導医（指導責任者）・専門医、日本胸部外科学会指導医・同学会関東甲信越地方会幹事、日本呼吸器外科学会評議員・指導医、呼吸器外科専門医、日本気胸嚢胞性肺疾患学会理事長、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本肺癌学会評議員・同学会関東支部会幹事、日本呼吸器内視鏡学会評議員・指導医・同学会関東支部会幹事、日本内視鏡外科学会評議員、日本気管食道科学会評議員・専門医、日本癌学会、日本癌治療学会、International Association for the Study of Lung Cancer (IASLC)、World Association for Bronchology and Interventional Pulmonology (WABIP)、ほか

当院では、2人主治医制を推奨しています。

当院へ受診する際には、かかりつけ医からの紹介状の持参をお願いしております。

症状が落ち着いた(安定された)患者さんにつきましては、紹介元である「かかりつけ医」の先生へ速やかに逆紹介させていただきます。また、「かかりつけ医」がいない方は、一緒にお探しいたしますので、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

※2人主治医制：患者さん一人に対し、「地域のかかりつけ医」と「当院の医師」が互いに連携しながら共同で継続的に治療を行うことです。

医療機関からの問い合わせ・予約等

ご予約・受診に関するお問い合わせは地域医療連携室にご連絡ください。

Tel:045-949-7151 (Fax:045-949-7287) 医療機関専用

平日：8時～17時、土曜：8時～13時

緊急診療・転院（入院治療）が必要な方も、上記電話番号にご連絡ください。

当番医師に迅速に繋ぎ、受入可否の判断をいたします

患者さんからのご予約

紹介患者さん専用ダイヤルを設けていますので、以下の番号にご連絡ください。

Tel:045-949-7143（患者さん専用）

平日：9時～17時

TOPICS

世界トライアスロンに医療協力しました。

5月に入り気温も上昇、日もすっかり長くなりましたね。スポーツ、ピクニックなどを楽しみながら気持ちよく過ごせる季節ではないでしょうか。

先日、5月14日・15日に2016世界トライアスロンシリーズ横浜大会が開催されました。2009年に横浜開港150周年記念事業として開催され本年は7回目となった大会は世界で10都市しかない世界トライアスロンシリーズの開催都市でもあります。世界各国から集まった選手たちが街を駆け巡る姿は横浜の風物詩となっています。

今大会にも当院から医師・看護師・事務のメディカルチームとして参加し大会成功に貢献することが出来ました。トライアスロンは皆さんもご存知のとおり一日に3種目（水泳・自転車・マラソン）の競技をこなすスポーツで挑戦したことのない私からすると神業的な複合競技です。今大会での世界選手の華麗な姿も圧巻されるものでしたが、参加選手の方々の生き生きとした表情からは過酷さを超える魅力を存分に楽しんでいるように感じ観客からは感動と興奮であふれていました。一生懸命に何かに向かう姿は人に元気を与えることができるのです。来年度の開催も決定しています。皆さんも是非ご覧になってみてください。

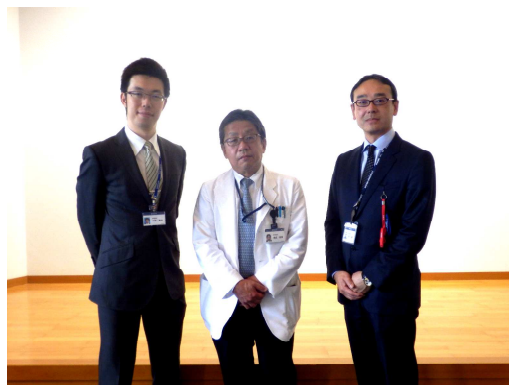
（5A病棟 師長 有馬 理加）



公開講座を開催しました。

5月21日（土）に平成28年度春期公開講座が開催されました。今回は第一講演は外科の中野助教による「その症状、甲状腺は大丈夫？」、第二講演は外科の西川講師による「『早く見つけよう！後悔しないために』～乳癌健診のすすめ～」というがんに関するテーマでした。

お陰様で当日はたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。質疑応答が活発に交わされており、アンケートではテーマに関心があったという方が大多数で、がんに関する関心の高さを感じました。



次回の公開講座は10月22日（土）を予定しております。テーマは栄養科 島居係長より「高齢者の生活習慣病について（仮）」、脳神経外科 谷岡講師より「脳腫瘍について（仮）」となっております。ぜひ皆様奮ってご参加いただきますよう、心よりお待ち申し上げます。

（管理課）

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

2016 年 5 月

【附属施設より】

・ 瀬尾 晃平 (産婦人科) 大学病院 産婦人科より

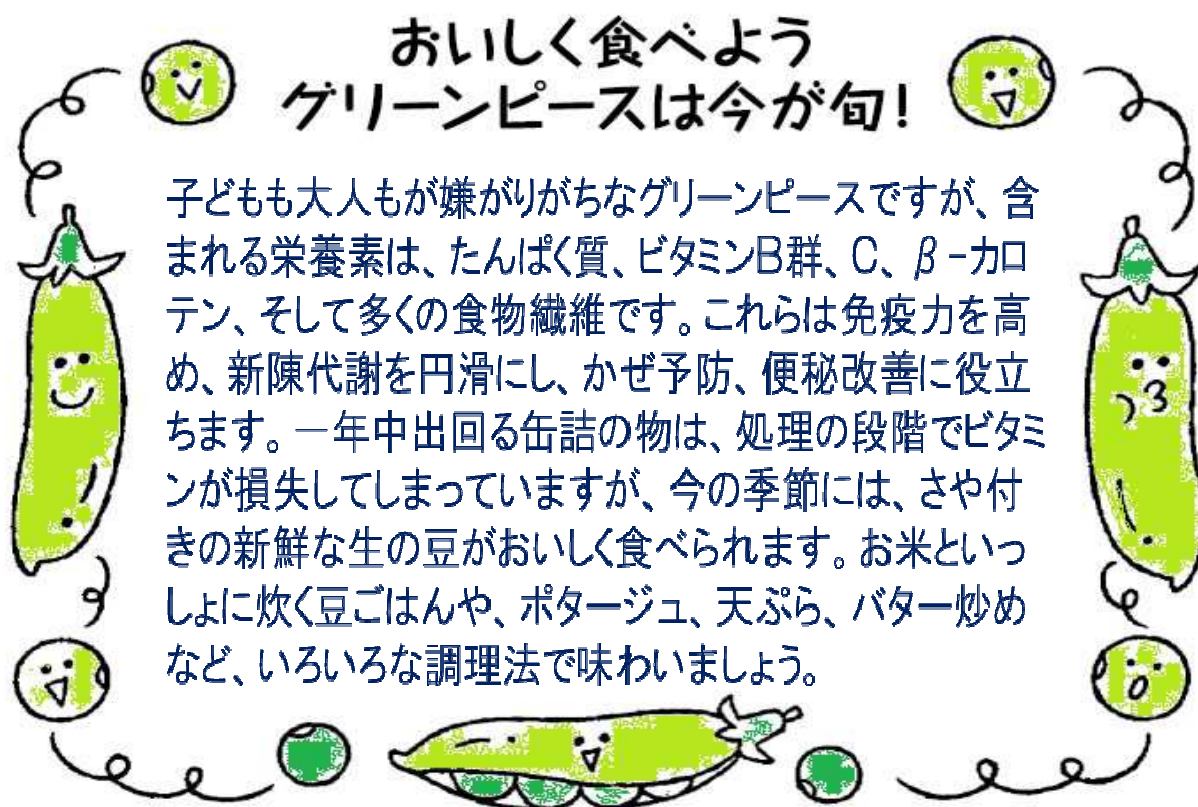
診療統計

前年同月比 ()内は 1 日平均

診療実日数 2015 年 4 月 (入院: 30 日・外来: 25 日)、2016 年 4 月 (入院: 30 日・外来: 25 日)

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
2015 年 4 月	16,199 人(540.0 人)	16,199 人(540.0 人)	342 件(11.4 件)	612 件(29.1 件)
2016 年 4 月	27,697 人(1,107.9 人)	17,644 人(588.1 人)	424 件(14.1 件)	731 件(36.6 件)

栄養科より



患者さんからのご意見・ご要望

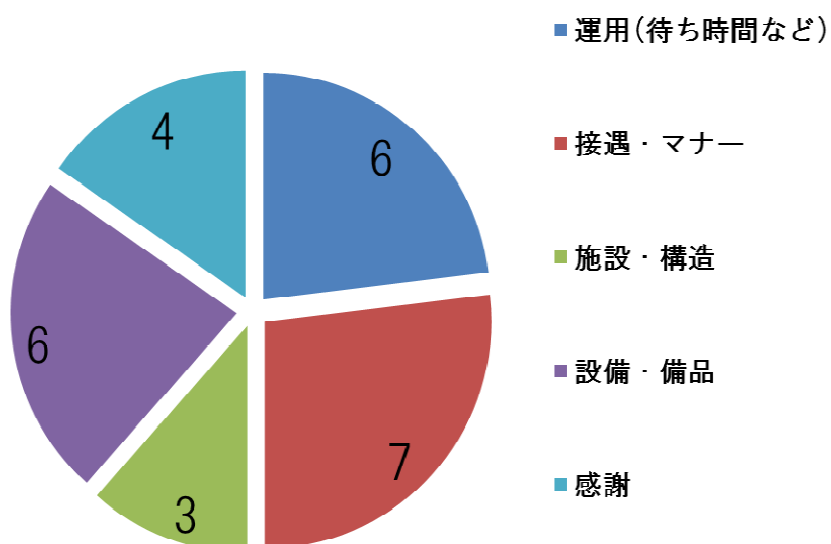
日々患者さんより頂きましたご意見・ご要望に関しましては、関連する部署の責任者に報告し改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近多くいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させて頂きました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<運用(待ち時間など)について> 入院手続きにあまりに時間がかかりすぎる。 等、計 6 件	入院手続きは待ち時間を分散するために、病棟にて手続きをしていただいております。しかし、日によっては入院される病棟の入院患者さんが多く、お待たせしている状況でございます。何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。
<施設・構造について> 病院周辺に灰皿を設置してほしい。 等、計 3 件	健康の増進を使命としている本学では、大学キャンパスを含め敷地内全面禁煙を平成 27 年 4 月より実施しているため、病院周辺への灰皿の設置を行っておりません。 何卒ご了承いただきますようお願いいたします。
<設備について> 防災センターのタクシー乗り場に、タクシーが来るまでの椅子があれば助かります。20 分くらい待ったことがありました。 等、計 6 件	防災センター前のタクシー乗り場に椅子を設置いたしました。どうぞご利用ください。

平成28年4月
ご意見・ご要望の総計
26件



耐性菌は手指消毒で“うつさない、拡げない、もらわない！”

抗生物質が効きにくい「耐性菌」について、テレビやインターネット、雑誌などで耳にされたことがありますか？たとえば、MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）などは有名かもしれません。こうした「耐性菌」は、元々は環境や鼻・皮膚などの体に存在し、共存している珍しくない菌なのです。では、なぜ「耐性」という言葉が付くと恐れられるのでしょうか？病院では多くの患者さんが、抗生物質による治療を受けます。その結果、これらの抗生物質に打ち勝つように細菌自身が変身して「耐性菌」となります。耐性菌の治療に有効な抗生物質は限られるため治療に難渋する場合があります、病気や色々な治療で体が弱っている患者さんにとっては、気をつけなければならない存在となり恐れられてしまうのです。



こうした「耐性菌」は、自分自身で歩いて移動することではなく、人や環境の表面から誰かの手指に乗り移り運ばれることで拡がります。そこで、医療スタッフは手指消毒薬を携帯したり、病室前に設置している物を使用して、徹底的に手指消毒に励んでいるのです。

また、耐性菌は医療スタッフの手指に限って乗り移るわけではないため、北部病院では入院患者さんに手指消毒や手洗に関するパンフレットを配布し、消毒の方法や消毒が必要なタイミングを看護師が説明しています。

ご面会される方々も、お部屋に入る際や面会を終えて部屋から出られる際には、部屋入口や病院の玄関付近に設置している手指消毒薬を使用し、手指の消毒を行って下さい。

耐性菌を誰かに「うつさない」、環境中に「拡（ひろ）げない」、そして自分自身が「もらわない」という意識で医療スタッフと共に手指の清潔に努めましょう。

（感染管理室 福岡 絵美）

編集後記

最近、足の裏のかゆみが出てきたり、足の皮が剥けたりということはありませんか？その場合は足水虫の可能性あります。水虫は白癬菌（はくせんきん）というカビによる感染症で、6～8月の蒸し暑い時期にもっとも多く発症します。気付かずに感染が拡大することがありますので、ご家族で同じような症状の人がいたら、一緒に治療をする必要があります。足水虫と足の湿疹は見た目では診断が難しいため、直接鏡検法という顕微鏡の検査で確定診断をします。

足水虫の診断をされても、しっかりとお薬を外用をすれば、治る病気ですので、心当たりのある患者さんは皮膚科の受診をお願い致します。

広報委員会 委員 佐藤 由似

北部病院だより 第96号

平成28年6月1日発行

発行責任者 世良田 和幸（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。